

## 研修会報告

平成 30 年 11 月 5 日

文責：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

研修会テーマ 病理細胞診部門 細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会

開催日時 平成 30 年 11 月 4 日（日）9：00～16：00

会場 東北大学病院 病理部

司会：東北医科薬科大学病院 佐藤正樹

大崎市民病院 戸村弘樹

9:00～13:00 「試験（スクリーニング、同定）」

13:30～14:00 「答え合わせ」

14:00～15:00 「鏡検とマンツーマン解説」

15:00～16:30 「低正解率問題、希望問題の講義形式での解説」

16:30～ 「自由鏡検」

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 10 名 非会員参加者 2 名 実務委員（講師）7 名 計 20 名

内容

昨年と同様に「細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会」と題し、細胞検査士認定試験受験予定者を中心に二次試験対策研修会を行った。昨年とは会場が代わり東北大学病院 病理部の施設を借用して開催した。問題は昨年同様に学部員や県内施設に協力を仰ぎ、全 5 施設からスクリーニング問題 30 題、同定問題 43 題を提供していただいた。

受講者を 10 人限定と案内していたが、12 人から受講希望の連絡があり結果的に全員を受講者として認めた。参加者の内訳は宮城県 5 名、青森県 1 名、岩手県 2 名、秋田県 1 名、山形県 2 名、栃木県 1 名。今年は昨年に比べ宮城県内の受験者は少なかったが、県外からの受講者が多かった。

今回で二回目の研修会であり、運営方法確立のために昨年と同様の施設から標本提供や解説の実務員をお願いした。また、昨年度の受講者からアンケートを取り、不足部分や希望の聞き取りを行った。会場となった東北大学病院は設備環境が整っており、特にモニター付きの顕微鏡などは解説時に非常に有効に使用させていただいた。提供された問題や解説も昨年同様に良質なものであった。また、当日中の回答分析によって受講者全体の弱点や傾向を把握して解説し、データを蓄積していく事はこれからの出題内容を考える上でも非常に有効な事である。以上のことから前回よりもブラッシュアップされた非常に質の高い内容の研修会を開催することができたと考える。

しかし、まだまだ課題は残る。会場が変わると運営方法はシュミレーションしていたものの昨年同様とはいかず、試験では細かいトラブルで受講者を待たせてしまう場面があった事は反省点である。また、東北大学病院では受講者は 12 人程度が限界であった。そして

借用の許可を得ているとはいえ、普段、病理医や技師会に関係ない方々も仕事をする部屋や機材を使用させていただいた。20 人もの部外者が丸一日これら使用するという事はお互いとてもリスクが大きい事であり、機材の破損や物品紛失のトラブルも起こりかねない。これから受講者を増やしていくためにも会場や症例提供や解説をしていただける施設、人員を探していかななくてはならない。

今回の研修会を通じて受講者の試験の合格という目的はもちろんのこと、施設間や世代間の交流を図れるようになり、次の世代の育成や情報交換などを円滑に行える環境を整えることを目的とした。これからこの企画を続けていくことで将来、試験に合格した受講者が協力して下の世代へ知識を伝えていく研修会になれば幸いと考える。